

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【公開番号】特開2002-306509(P2002-306509A)
【公開日】平成14年10月22日(2002.10.22)
【出願番号】特願2001-111749(P2001-111749)
【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 19/00

A 6 1 B 1/04

【F I】

A 6 1 B 19/00 5 0 2

A 6 1 B 1/04 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月18日(2004.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体を撮像して得られる画像を第1の表示手段に表示するよう出力する出力手段と、
通信回路を介して信号のやり取りが可能な第1の伝送手段と、

前記第1の伝送手段と前記信号のやり取りが可能であって、前記第1の伝送手段から送信された前記画像を受信して第2の表示手段に表示するよう出力する第2の伝送手段と、
前記第2の表示手段に表示された受信画像に対して該画像上に所望の位置を指示する位置指示手段と、

前記位置指示手段により指示された位置情報に基づき、前記第2の表示手段に第1のポインタを表示させるとともに、この第1のポインタの前記受信画像上での位置情報を前記第2の伝送手段を介して前記第1の伝送手段に伝送させる第1のポインタ表示制御手段と

前記第1の伝送手段が受信した前記第1のポインタの位置情報を基に、前記第1の表示手段に表示している前記画像上に、第2のポインタを表示させる第2のポインタ表示制御手段と、

を備えたことを特徴とする遠隔支援手術システム。

【請求項2】

前記第1のポインタ表示制御手段は、所定の操作入力に基づいて、前記第1のポインタの前記受信画像上での位置情報を、トリガー情報として伝送させるとともに、前記第1のポインタ表示手段に表示されている第1のポインタの形式を視認可能に変化させることを特徴とする請求項1に記載の遠隔支援手術システム。

【請求項3】

前記トリガー情報に基づき、前記第2のポインタ表示制御手段は、前記第1の表示手段に表示している前記画像上に、第2のポインタを表示させることを特徴とする請求項2に記載の遠隔支援手術システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の遠隔支援手術システムは、被検体を撮像して得られる画像を第1の表示手段に表示するよう出力する出力手段と、通信回路を介して信号のやり取りが可能な第1の伝送手段と、前記第1の伝送手段と前記信号のやり取りが可能であって、前記第1の伝送手段から送信された前記画像を受信して第2の表示手段に表示するよう出力する第2の伝送手段と、前記第2の表示手段に表示された受信画像に対して該画像上に所望の位置を指示する位置指示手段と、前記位置指示手段により指示された位置情報に基づき、前記第2の表示手段に第1のポインタを表示させるとともに、この第1のポインタの前記受信画像上での位置情報を前記第2の伝送手段を介して前記第1の伝送手段に伝送させる第1のポインタ表示制御手段と、前記第1の伝送手段が受信した前記第1のポインタの位置情報を基に、前記第1の表示手段に表示している前記画像上に、第2のポインタを表示させる第2のポインタ表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

また、例えば電気メスを使用して切開する場合の出力値と凝固させる場合の出力の設定値等を手術室5の術者がタッチパネル25から行う。すると、その手術具20に対する出力設定を含む制御内容は第1のコントローラ24から第2のコントローラ32のI/O43に送られて例えばメモリ42等に格納されると共に、図3に示すように手術具状態表示エリア52には、手術具20に対する制御情報（設定情報）が表示される。